



2026年4月15日

各 位

会 社 名 株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス

代表者名 代表取締役CEO 吉村 元久

(コード：2884、東証プライム)

問合せ先 取 締 役CFO 安東 俊

(TEL. 03-6206-1271)

通期連結業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

2026年1月14日に公表いたしました2026年2月期の連結業績予想値と本日開示の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年2月期連結業績予想値と実績値との差異（2025年3月1日～2026年2月28日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 連結純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想値 (A)	56,400	2,800	2,800	1,600	67.05
実績値 (B)	57,484	1,568	1,692	918	38.50
増減額 (B-A)	1,084	△1,231	△1,107	△681	
増減率 (%)	1.9%	△44.0%	△39.6%	△42.6%	
(ご参考) 2025年2月期実績値	58,110	4,161	4,251	1,861	78.13

2. 差異が生じた理由

利益が予想値を下回った主な要因は、ホタテ関連事業にあります。当社が製造するホタテ製品は、「ホタテ貝柱」、「ボイルホタテ」、「ホタテ片貝」の3種に大別されます。ホタテ貝柱については、世界的な需要拡大を背景に販売価格が高水準で推移したことから販売量をコントロールしたことに加え、漁獲量の減少及び仕入価格の上昇に伴う原価の上昇により、利益を押し下げる要因となりました。ボイルホタテは、主に国内向けに販売しておりますが、国内市場価格が下落したことにより棚卸資産を保守的に評価減（4.8億円）いたしました。

海外事業においては、足元では回復基調が見られるものの、シンガポールにおける景気減速や外食需要の低迷等の影響により、利益の回復は当初想定を下回りました。

一方、ホタテ関連事業を除く国内事業につきましては、主要各社が安定的に推移しており、概ね堅調な業績を維持しております。また、厳しい事業環境の中、販売価格の適正化や販売戦略の見直し、コスト削減などの収益改善施策を推進しております。

なお、詳細につきましては本日（2026年4月15日）公表いたしました「2026年2月期決算説明及び中期経営計画」をご参照ください。

以 上